

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com☎049-227-3001 FAX 049-227-3068 ホームページ <https://hatoyama.info/>

4月・5月の活動

お知らせとお願い

■「熊井の森通信」は隔月発行に

新年度を迎え、はとやま環境フォーラムの活動も18年目を迎え再スタートを切ります。つきましては、今号から「熊井の森通信」は隔月発行とし、別途、臨時特別号の発行も予定しています。引き続きご愛読と、ご興味のある活動への参加をお願いします。

■新年度の会費納入とカンパのお願い

里山保全等のはとやま環境フォーラムの活動は皆様から頂く会費やカンパ収入が基本的な財源です。物価高の折、年会費額は3000円据え置きで頑張っています。会員特典（共同菜園の無料利用、親睦ピザ窯パーティーや試食会へのご招待、各種イベントの参加費割引、草刈機やレジャーテーブル等アウトドア用品の貸出ほか）もあります。

ぜひご加入の上、会費納入をお願いします。

はとやま環境フォーラムの会員募集中

★2026年度会費 3,000円

■ゆうちょ銀行 店名 ○三八 店番038 普通預金
口座番号 96656981
口座名義 トリハトヤカキョウフォーラム

熊井の森トラスト基金へのご支援を

★1口 5,000円から

<振替口座> ■ゆうちょ銀行
記号番号 00210-4-143207
加入者名 熊井の森トラスト基金

<普通口座> ■ゆうちょ銀行 支店 ○三八
口座番号 9472664
口座名義 クマイノモリトラストキキ

■カエル脱出装置の効果を確認しよう

4月19日（日）午前9時より、石場沼下ピオトープの側溝掘りと鳥よけのテグス張りや電気柵周りの草刈りをします。また、時間があれば、カエル脱出装置がうまく機能しているかどうかを、カエルを捕まえてきて脱出装置を登らせてみる検証実験もやりたいと思います。カエルの脱出を応援したい方の参加をお待ちしています。

追伸：新しく作ったピオトープにトウキョウサンショウウオの卵とおぼしきものがあるのを、週末で遊びに来ていた地元の方のお孫さんが発見してくれました。

■2025年度総会を開催

5月17日（日）午前10時より、かわせみハウスで2025年度総会を開催します。昨年は当団体の里山再生事業を「熊井の森／自然共生さとやま保全事業」と「熊井の森／自然共生こもれびファーム事業」の2つの事業区分に位置づけ、新たに、石場沼下の谷津田休耕地でのピオトープづくりとハト麦栽培とウッドデッキづくりを始めました。

総会ではそれらの活動報告と今後の取組みについて話し合います。多くの会員の方々の参加を得て、活発な話し合いが出来るよう期待しています。

ハト麦栽培で里山再生を ①

■今年のハトムギ栽培 本格的に始動



「いっぽん、にほん、さんぽん……これで100本。大丈夫ですね、必要な数はありそう」 3月17日午後、テント倉庫にある園芸用棒を数えた。何に使う棒かといえば、今年のハト麦栽培予定の畝数は54本。その両端に棒を立てて、貝殻石灰撒きや種まきの目印にするためのもので、108本の棒が必要です。数日前には、園芸センターへ行き、石灰と化学肥料、苗栽培用土を買った。店には、石灰といっても、いろいろ種類があって、安価な石灰や有機石灰、貝殻石灰、卵殻入りの石灰などもあって、迷ってしまう。

これにしようとして決めて、重い袋をカートに載せたと思ったら、「あれ、こっちの方だわ」とまた降ろしたり、載せたりと、「フーなかなか大変！」

種探しはもっと大変でした。今までは会員から頂いた種を、4年間続けて育ててきましたが、今年は新しく種を購入して栽培しようとして話し合っ、種探しを始めた。国内栽培、F1でない固定種、関東地方に適しているハト麦の種などの条件で、ネットで検索しても、なかなか出会えない。ハト麦の種さえ、販売していることが数少ないことが分かりました。

やっと思うような会社に出会えたけど、今度は、表示が10gと書いてあった。私たちの畑は3300粒必要なので粒数を知りたい。「何粒だろう」と考えても、予想がつかない。「この会社に電話してみよう」とかけて尋ねてみると、「300粒位はありますが」という返事。粒数を問い合わせられるのも珍しい、という感じでした。早速注文しました。4月になると、畝の位置の印をし、石灰撒き、5月になるといよいよ種撒き、水管理、雑草取りなどと作業が続く。今後、作業予定を通信やメールでお知らせしますので、ぜひ、ご協力をお願いします。（嵯峨 千代美）

■第22回「エコフェスタ比企in鳩山」を開催 5月16日(土)

会場は鳩山ニュータウン中央緑道、かわせみハウス前、9時30分スタートで午後1時30分まで開催します。熊井の森での活動紹介のパネル展示や掘り出し物たっぷりの住民自治会バザーをはじめ、手作り小物や花苗、

古本のほか、リサイクル販売もあります。ブルーシート1枚分のスペースに誰でも自由にお店を出せ、出店料は400円と格安です。ぜひご参加ください。

協生農法で休耕地再生を①

協生農園の取り組みは3シーズン目に入ります。初年度は夏野菜も冬野菜もほとんど育ちませんでした。日照りと水不足、そして獣…いや、責任逃れはいけませんね！ なんとか育ったトウモロコシとサツマイモは獣たち(イノシシかシカ)のご馳走になって良しとしましょう。

今年は、獣対策に、農園の周りを網で囲うことも検討中です。無規則に畝を作ったため、統一の取れない畝になっていましたが、今回は一通り耕耘機をかけ、畑を整えました(不耕起が基本ですが、ソニーCSLの方に相談して)。50種類ほどの種を播きます。2年前に植えた果樹の苗もほとんど枯れてしまいましたので、



新たに10本の苗を植えますので、協力者を求めます。

作業予定：4月4日(土)

午後13:30～。現地集合。

なお、まだ日程がはっきりしませんが、ソニーCSLの太田氏がご来町しご指導いただく予定です。(井田 清)

ウッドデッキを作ろう ①

熊井の森にウッドデッキを自分たちの手で作ろう、という楽しい構想が実現に向けて着々と、しかしゆっくりとマイペースで進んでいます。慌てて作らなければならない理由がないので、DIYを楽しんでいるというところでしょうか。

前回、ウッドデッキの土台についての測量を行いました。これからは木材による建設作業に入りますので、人手が多いに越したことはありません。皆様のご協力を期待しております。(井田 清)

<今後の作業予定>。

1、準備

- ①測量結果による最終図面の制作(作業工程表、材料加工図、完成図他)4月15日までに。
- ②作業場所・環境の整備(テント、作業台の設置) **4月18日(土) 13:30～**
- ③材料の取得(古材を基本に、必要な材料を購入)4月25日(土)までに。
- ④工具の準備(電動ノコギリ、電



▲完成予想イメージ写真

動ドライバーなど、持ち寄り)4月25日までに。

⑤部材の準備(ネジ、釘、針金など)4月25日(土)までに。

2、材料の加工

- ①土台柱のカット(これは工務店に依頼)
- ②各材料の加工 4月26日(日)
- ③防腐剤の塗布(エンドカットシーラント&全体への防腐剤塗布)4月26日(日)～

3、組立て工程図によって組み立て

4、完成祝い

注：日程は変更になる可能性は大きいので事前確認の問い合わせを。

3月の活動

3・1 資源回収(紙類650kg、アルミ10kg)武州・入間川プロジェクト事業完了



3・5 豊島区主催「生成AIセミナー」にZOOM参加

3・7 ビオトープ3号地茅刈り ウッドデッキづくり

3・8 定例理事会 第1回カエル卵塊調査 トウキョウサンショウウオの卵産み付け環境作りのためトラウト1・2号地手前の側溝の泥掘り

3・13 2026年度武蔵野銀行みどりの基金34万円助成給付通知が届く 鳩山町産業振興課よりアライグマ捕獲の箱罠1基貸出承認決定通知が届く

3・15 第2回カエル卵塊調査 フォーラム菜園でジャガイモの植付

3・17 ハト麦会議 畑立て棒100本確認

3・19 新規休耕地使用許可願状を発送 かわせみハウス前でフォーラム会員が朝市開催

3・22 荒川流域ネットワーク主催「荒川流域再生シンポジウム」に参加

3・18 第3回カエル卵塊調査

3・21 第4回カエル卵塊調査でオタマジャクシを確認

3・22 第5回カエル卵塊調査でオタマジャクシ確認

3・25 辻川散策路の改修(車両進入路幅)について町役場と協議



3・26 ビオトープ周辺に箱罠を設置

3・28 ビオトープ地権者と現地視察し活動状況を確認

3月の活動報告

■ビオトープ3号地で茅の刈取り 3月7日



ビオトープ用地としてお借りしている休耕田は1号地189㎡、隣接する571㎡を3区画に分け2号地190㎡、3号地190㎡、4号地190㎡とし、2年間でビオトープづくりを完成する予定です。2025年度には1号地と2号地のビオトープ作りに着手したわけですが、次年度に向けて、3号地の草刈りを行いました。茅は30cm程を残して、イノシシやアライグマには身体をさらすことになるけれども、昆虫たちが鳥から身を隠せるように配慮しました。効果のほどは何とも言えませんが、試行錯誤のひとつです。

■サンショウウオ産卵場所の泥捌き 3月8日



野鳥観察舎のあるトラスト1・2号地の手前の道路脇には、毎年、トウキョウサンショウウオが卵を産み付けます。ここで孵った子供たちは山の中の竹藪に入っていくのですが、クロワッサンのような独特の形の卵塊はめっきり少なくなっていて心配です。この日、卵の産み付けに合った環境づくりとして、泥をある程度さらい、水がたまるようにしました。

■アカガエルの卵塊調査 3月8日

この日、第1回目のアカガエルの卵塊調査。「卵があった」との連絡が入り、早速の調査開始です。ビオトープには5個、石場沼の上の休耕田（湿地）には108個、



さらに東山沼まで足を延ばし、沼をぐるっと周って調べたら、59個を目視確認出来ました。今年度には辻川散策路づくり事業の一環で東山沼でも散策路設置工がありますが、カエルの生息には影響が出ないように配慮しているとのことです。

■共同菜園でジャガイモの作付け 3月15日



ミニ耕耘機の今年初仕事。3回耕してやっと畝をつくれるほどになって、2箱分のジャガイモの種芋を植付けました、秋が楽しみです。

■FF2号地にペチュニアなどの草花を



昨年は共同菜園ことフォーラムファーム（略・FF）2号地にハト麦の苗を育て植え付けましたが、猛暑のためなのか、ほとんど育たず、ほぼ全滅状態でした。今後この場所をどう使うかを話し合うつもりですが、ひとまず今年は、フォーラム会員の方にお任せすることになり、ペチュニア、ディオラ、パンジー、カリブラコアなどの草花が植え

られました。いずれも3～4月に咲く花で、ちょっとまを訪れたお客さんの目を楽しませてくれる花園が出現するはず。ヒマワリの種も撒き、夏にはパパイアを植えたいとのことでした。

文学的情緒を誘う「虎耳草」



しとしとと春霖が霖が降る季節になると、森の中はだんだんにぎやかになってきます。万物の息吹、鳥のさえずり、清々しい空気に思わずうっとりとしみます。日陰に転がっている岩の上には、触角のような赤い茎が這っていて、白い葉脈が走った毛の生えた肉厚の丸い葉がついています。初夏に咲く白い花もユニークな形をしていて、風が通り過ぎる度にゆらゆらと揺れて、まるで踊り子が踊っているようです。皆さんはもうお分かりでしょうか。そう、ユキノシタです。

こんなにかわいい姿の植物なのですが、観賞用はもちろん、食用や薬用にも向いています。以前に好奇心に駆られて若い葉を採ってきて天ぷらにしたことがあります。風味は大葉に似ていて、あまりクセがなく食べやすかったです。ユキノシタの中国語名は数種類ありますが、一番親しい呼び方は「虎耳草」です。この名前はもふもふとした葉が虎の耳に似ていることに由来しています。また、『本草綱目』には、葉を潰した汁は中耳炎に効くという記録があり、ほかにもむくみの解消や解毒など様々な効能も持っているようです。

文学の側面からみると、中国の現代作家の一人・沈從文氏の「辺城」という短編小説の中に、主人公の翠翠が虎耳草を摘んだ夢を見たという一節があります。「切実な愛情」という花言葉を持つ虎耳草は、少女の恋心の象徴としてピッタリかもしれません。虎耳草の控えめな姿が久しぶりに文学的な情緒を思い起こしてくれました。

(王 菲)

活動後記 ■ 3月24日 熊井の農産物直売所（ちよっくま）に向かう途中の左側に奇妙な田んぼ（写真）がある。田んぼ一面に池が掘られ、まさに冬水田んぼのビオトープ。周りにはアオサギなどが数羽いて、格好の水辺



の観察スポットになりそうだが、一体何のためか。その謎が解けた。草刈りの面積を減らすために池を掘ったとのこと。なるほどそういうことか。飼えなくなった鯉の引き取り先にとも考えたそうだが、法規制で出来ないでいるらしい。

森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り ②5

アカガエルは産卵が終わると二度寝の冬眠へ



今年の3月は何だか雨の日が多い気がしましたが（88mmの県平均に対して3月20日の時点で117mm）、3月の雨はアカガエルの産卵開始のサインです。

もっと寒いときから水場で待っていたオスが、「ククククッ」と特徴的な鳴き声で一時的に冬眠から目覚めたメスを呼びます。そして、産卵が終わるともっと暖くなるまで再び二度寝の冬眠をします。

そんなアカガエルですが、卵塊の数でその周辺に生息しているメスの数が概ねわかります。熊井の森周辺の数ヶ所で調査した結果、今年は170個ほど確認できました。これは周辺に繁殖可能なメスが170匹ほどいるということになります。アカガエルは森の生き物にとって重要な食料となりますので、アカガエルの多い森はそれだけ資源の多い森と言えます。

また、今年の調査箇所には私たちが作った湿地ビオトープも含まれ、1号地と2号地とを併せて8個の卵塊が確認できました。石場沼や観音寺沼より下流では他に産卵に適した場所が殆どないため、湿地ビオトープは産卵場所のリスク分散に一役買っています。アカガエルの産卵適所は実はけっこう環境として脆弱で、倒木や土砂崩れで流れ込みが止まれば乾いてしまいますし、産卵場所が少ないと天敵（アライグマやイタチなど）も集中してしまい、親が効率よく食べられてしまいます。そういった意味で安定した産卵場所の確保とリスク分散がとても重要です。（愛場 結偉）

定例観察会のご案内

開催日 : 毎月第3日曜日
 集合場所 : かわせみハウス前
 集合時間 : 午前8時30分
 (終わりはお昼前)



興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。鳩山ニュータウン内かわせみハウス前に午前8時30分に待ち合せて、相乗りで熊井の森に向かい、帰りも一緒できます。